

社会学演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-402

必修 2単位

阪本 博志

1. 授業の概要(ねらい)

卒業研究作成に向けて、各自がそれぞれのテーマに沿って、社会学的研究を進めていく。

このプロセスでは、本学科のディプロマポリシーのうち、「理論的な思考にもとづき実証的な調査をおこなうことができる」「調査・研究の成果をもとに論理的な主張を展開できる」「社会の成員としての自己を理解し、他者に対して寛容な態度をとることができる」にとくに重点をおく。

具体的には、各自の興味・関心のあるテーマについて文献を読み、発表していく。文献を読み進め発表し、意見交換をしたり他のゼミ生の発表を聞くことで、Ⅰでは興味・関心を広げ、Ⅱでは徐々に対象を絞っていく。Ⅲ・Ⅳにおいては本格的に卒業研究を進める。卒業研究も含め、Ⅰ～Ⅳにおいては期末レポートを課す。

研究のより具体的な進め方については、担当教員自身がどのように進めているのかも交え、Ⅰの初期の段階で説明する。

2. 授業の到達目標

①ゼミで他の受講者の発表を聞いたり意見交換をすることで、多様な価値観を持った社会の成員が存在することを理解できる。

②現代社会の諸課題について他の受講者と意見を交換し、ともに考えを深めて結論を導くことができる。

③収集した資料を論理的に読み解き、客観的な視点から、研究課題における知見を導きだすことができる。

④授業中の発表や期末レポートにおいて、個人的な意見と根拠に基づく知識との違いを理解したうえで、自分の考えを表明することができる。

⑤自身の研究内容について、第三者が理解できるようにプレゼンテーションを行うことができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業中の発表 50%

期末レポート 50%

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

発表する内容について、事前に担当教員と相談し、当該文献についてのレジュメを作成する。

卒業研究の執筆を進める。

6. その他履修上の注意事項

①研究等について担当教員への報告・連絡・相談は、密におこなうこと。

②発表予定者が当日欠席せざるをえなくなったときには、可能な範囲内ですみやかに担当教員までメールにて連絡をすること。

③オンライン授業をおこなう時期については、授業の進捗状況によって、変わる可能性がある。その場合はすみやかにお伝えする。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 発表と意見交換(1)
- 【第3回】 発表と意見交換(2)
- 【第4回】 発表と意見交換(3)
- 【第5回】 発表と意見交換(4)
- 【第6回】 発表と意見交換(5)
- 【第7回】 発表と意見交換(6)
- 【第8回】 発表と意見交換(7)
- 【第9回】 発表と意見交換(8)
- 【第10回】 発表と意見交換(9)
- 【第11回】 発表と意見交換(10)
- 【第12回】 発表と意見交換(11)
- 【第13回】 発表と意見交換(12)
- 【第14回】 発表と意見交換(13)
- 【第15回】 これまでのまとめ等(オンライン授業)